

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月25日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0174100487		
法人名	株式会社 育成		
事業所名	グループホーム 育成会 長生の望・灯・楽		
所在地	北海道釧路市大楽毛南4丁目6番8号 (電話) 0154-57-7650		
評価機関名	タンジェント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成21年3月25日	評価確定日	平成21年4月8日

## 【情報提供票より】(平成21年2月16日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年9月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤 15人, 非常勤 人, 常勤換算	11.3人

### (2) 建物概要

建物構造	S 造り		
	3 階建ての	2 ~ 3 階部分	

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	37,000 円	その他の経費(月額)	34,000 円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		円

### (4) 利用者の概要(2月16日現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	3 名	要介護2	4 名
要介護3	5 名	要介護4	5 名
要介護5	1 名	要支援2	
年齢	平均 82.1 歳	最低 70 歳	最高 98 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	見田デンタルクリニック・新橋なかやクリニック・星が浦病院
---------	------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

運営者及び職員は繰り返し話し合いをしながら利用者を中心とした介護を目指している。利用者間でも職員が間に入りながらお互いを尊重する人間関係を築き上げている。外出の支援や手作りのものをつくることなどの支援は積極的に行われており、今後も更に本人の話を聞きながら行きたい場所やなじみの場所に行ったり、利用者のアイデアを形にできるよう話し合われている。地域との関係も重視され今年度は、地域では16年ぶりとなった盆踊りを実現することもできた。また、畑の種まきシーズンには近隣の方が野菜の苗を持ってきてくださったり畑についての助言をいただくなどの関係もできてきている。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では改善課題はあげられていません。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、ユニットリーダーが中心となって全ての職員が参加して行われている。評価は普段の取り組みの振り返りの機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については運営推進会議に報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は年間の予定が決められ、毎回のテーマが決められて2か月に一回行われている。主な主題については 虐待について 共感について 認知症サポーターについて 町内会防災訓練参加報告について
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	ご家族からのご意見、苦情、不安などが聞かれた場合にはフロアミーティングなどで話し合い、対応を協議し共有している。急を要するものについては即日職員の招集をし対応できるようにしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	運営推進会議には地域の代表の方に来ていただきご意見をいただいている。町内会の行事には利用者と共に職員がボランティアとしても参加し、行事のお手伝いもしている。ホーム主催の行事でも地域の方達との交流が図られ、立ち寄ってくださる方や声をかけてくださる方なども増えてきている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	運営者及び職員が話し合い「家庭的な環境と地域住民と交流の下で共同生活を安心して暮らせるように努める」ことを運営理念の中に掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	フロアリーダー及び職員は、毎朝の申し送りで理念を唱和すると共に毎日の介護の中で理念が実現できるよう確認し合っている。また、理念を共有部分に掲示している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の「ミニ運動会」などの行事に利用者と共に職員が参加し、ボランティアとしても協力したり、ホーム主催の行事を開催してたくさんの方の地域の人達に来ていただき、交流が図られるようにしている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、各ユニットリーダーが中心となって全ての職員が参加して行われている。また、評価は職員の振り返りの機会として捉えられケアサービスの質の向上に利用されている。今後更に取り組んでいくことについても話し合われている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は年間の予定を決め2か月に一度開催されている。今年度はメンバーのお話から、地域では16年ぶりとなった盆踊りを開催するきっかけともなっている。		
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営者及びフロアリーダーは市との連携の重要性について理解し、日常的に利用者の支援に関する相談などを行っている。市からも協力の申し出をいただいている。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「育成通信」を毎月発行しているほか、季節ごとに日常の暮らしぶりを撮影した写真と手書きのお便りを送ったり少しの変化でもご家族に状況などを報告している。また、金銭管理についても毎月報告されている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議の案内はご家族全員に送っている。日常にご家族に変化などを報告しながら意見を聞く機会を作ったり、来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んでいる。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をしている。毎日、カラオケ・お茶会・趣味・工作・リハビリテーションなどで別のユニットの職員や利用者との交流がありなじみの関係ができています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム協議会や管理者研修など外部の研修参加後には報告書を書き、会議で報告したり報告書を回覧するなどしている。また、経営者からのメンタル研修や日常的に役立つ様々な資料を使っての職場内研修も行われている。</p>		<p>今後も更に職員の力量をアップさせるための取り組みを継続する予定がある。また、職員も研修意欲が高く資格取得などを目指している。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会の交流会や研修会を通じて他施設との交流が行われている。また、包括支援センター主催の研修などを通して同業者との交流に努めている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人が安心して納得したサービスが受けられるように入居前には、本人と家族の見学やお茶会への参加で不安を解消する取り組みをしている。ご家族の相談ごと、生活状況と共になるべくご本人の話を聞き、利用者とのコミュニケーションもとりながら馴染めるよう相談しながら工夫している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>切り漬け・たくあん・はさみ漬け・粕漬け・甘酢漬けなどたくさんの漬け物をつけながら野菜の切り方や漬け方のアドバイスをいただいたり、海苔巻きの上手な巻き方を教えていただいたりしている。手作りの物作りの際にもアイディアを出してもらったり色合いを考えてもらうなど学ばせてもらうことも多い。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常の会話の中から一人ひとりの思いや意向を聞き取るよう努力している。外出や外食に出かけたい方たちも多く、散歩や買い物などのほか、空港や阿寒・昔住んでいた場所などへのドライブや食べ歩きなどにも積極的に出かけている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>遠方にお住まいのご家族もだいたい介護支援計画の作成期間ごとには来訪されるため、意向・希望を確認し本人の思いと併せて下書きをつくり職員全員の意見を出してもらいながら介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われている。介護計画に関する記録は全て介護支援専門員が管理し、利用者の状態変化に応じて期間終了前であっても都度、現状に即した介護計画の見直しが行われている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療連携が行われている。本人の行きたい場所に行くための支援や、もともに行っていたリハビリテーションや趣味活動も継続できるよう対応している。</p>		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者それぞれの主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、訪問看護や皮膚科・精神科・歯科、それぞれの往診も行われている。ご家族と受診される場合には状況報告書と健康管理票をお渡しし、経過がわかりやすくなるようにしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	訪問の看護師や医師と連携して、利用者・家族とも相談しながら慎重に検討するよう職員間でも共有されている。ホームでできることとできないことの見極めをし、利用相談の段階から話し合いをしている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの尊厳やプライバシーを尊重して声をかけることなどができるよう、新入職員にも資料を渡し教えている。個人情報については事務所内の書庫に保管管理をしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの思いを尊重して、散歩や職員と一緒に食材の買い出し、カラオケ、将棋、演奏会、ドライブや蘭の展覧会などへの外出等本人の希望やペースにそえるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は利用者の食べたいものを聞いてたてている。重度化により利用者のできることは少なくなってきているが、職員と利用者と一緒に食材の下処理や配膳、下膳、食器拭きなどを行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や入浴時間にとらわれず利用者の希望に応じて週2~3回を目安に対応している。また、くつろいで入浴が楽しめるように入浴剤を入れりラックスできるように工夫されている。入浴時間は一対一で昔の話を聞いたり会話の弾む時間として大切にしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	地域の方たちのご協力もあり畑で人参・じゃが芋・とうもろこし・大根など多くの野菜を栽培したり、外出や漬け物やバレンタインデーのチョコレートケーキ作り、ひな祭りの桜餅作り、カラオケ、掃除、食事の準備や後片付けなど様々な支援が行われている。		今後も更に利用者の希望に添って外出・外食などを行い、楽しんで暮らせることを目標にしている。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は外気浴、散歩、畑仕事、ラーメンなどの外食、阿寒の公園までなどのドライブ等、積極的に外出ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全員が鍵をかけることの弊害を理解し、夜間帯以外には鍵はかけていない。また、利用者が外出する時は、職員が見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者が配置され、火災避難訓練が年2回実施されている。町内会の防災訓練にも参加し、運営推進会議でも災害時における話し合いが持たれ、AEDも設置されている。		火災及びその避難時に個々の職員がどのような対応ができるのかを確認するため個人別消防訓練力量表を作成した。今後これを活用して自己評価し、その結果を基に各々が確実に消火・通報・避難誘導等の対応ができるよう研修を行うことにしている。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な水分・食事の摂取量が記録され、栄養バランスやカロリーについてもおおよそ把握され支援されている。また、月一度体重測定も行われ健康管理に配慮されている。食事制限・水分制限などがある方たちにも対応している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リハビリテーションの用具やカラオケが用意され、利用者と共に作った季節の飾りや大作の貼り絵のタペストリー、牛乳パックで作ったはがきの作品、写真、鉢植えの植物などが飾られたり、壁に備え付けの折りたたみ椅子なども用意されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、仏壇や使い慣れた家具やテレビ、鉢植え、趣味のビデオテープなどが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。また、利用者手作りの作品も飾られている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。